

2023年度

明治大学大学院理工学研究科

# 学生募集要項

I 期入試 2022年7月16日（土）

II 期入試 2023年2月22日（水）

※コロナウイルス感染拡大の影響により、今後、試験日程等を変更する可能性があります。  
変更となる場合は、理工学研究科ウェブサイトでお知らせしますので、適宜ご確認ください。

## 博士前期課程

- 一般入学試験
- 外国人留学生入学試験
- 社会人特別入学試験
- 飛び入学試験

## 博士後期課程

- 一般入学試験
- 外国人留学生入学試験
- 社会人特別入学試験



MEIJI UNIVERSITY

## 目 次

【教育課程編成・実施方針】（カリキュラム・ポリシー）	2
【学位授与方針】（ディプロマ・ポリシー）	3
【人材養成その他教育研究上の目的】	4
2. 入学定員	6
3. 出願資格	7
（1）一般入学試験	7
（2）外国人留学生入学試験	9
（3）社会人特別入学試験	10
（4）飛び入学試験	10
4. 試験時間割・筆記試験科目	12
（1）博士前期課程一般・外国人留学生・社会人特別入学試験・飛び入学試験※	12
① 博士前期課程「基礎科目・専門科目」出題範囲	12
② 博士前期課程「英語」試験の取扱いについて	13
（2）博士後期課程一般・外国人留学生・社会人特別入学試験	13
① 博士後期課程「英語」試験の取扱いについて	13
5. 試験当日の注意事項	14
6. 合格発表	15
7. 出願書類一覧	15
8. 出願手続き	16
（1）出願方法	16
（2）出願書類の準備・作成要領と注意事項	16
（3）外国の教育機関を卒業・修了（見込）した場合の各種証明書について	22
① 中国（香港・台湾・マカオを除く）以外の教育機関を卒業・修了（見込）の場合	22
② 中国（香港・台湾・マカオを除く）国内の教育機関を卒業・修了の場合	22
（4）入学検定料の納入	23
9. 入学手続	25
10. ビザ（査証）について	26
11. 奨学金	27
12. 明治大学教育振興協力資金について	27
13. 個人情報の利用目的について	27
14. 入学諸費用等について	28
15. キャンパスアクセス及び問合せ先について	29

## 【入学者受入方針】（アドミッション・ポリシー）

### 【博士前期課程】

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって人類の継続的な発展と幸福に貢献する、人間性豊かな高度専門職業人と研究者の養成を目的としています。

自然科学や人文・社会分野における基礎的な教養を身につけた、論理的な思考力と強い探究心をもって理工学の発展に寄与することを希望する意欲ある学生を受け入れます。

上記の学生像に基づき、学内選考入学試験、一般入学試験、外国人留学生入学試験、社会人特別入学試験および飛び入学試験を実施し、入学者の選抜を行います。

なお、入学者の修得しておくべき知識等の内容と水準を以下の通りとします。

- (1) 入学を希望する専攻の学問体系を習得するための基礎学力を備えていること。
- (2) 研究活動に必要なコミュニケーション能力および語学力を身につけていること。

### 【博士後期課程】

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって人類の継続的な発展と幸福に貢献する、自立した研究者と高度専門職業人の養成を目的としています。

この目的を踏まえ、専門分野の研究活動を深化させる強い探究心を備え、自ら課題を発見し、それを積極的に解決していく意欲に溢れる学生を受け入れます。

上記の学生像に基づき、学内選考入学試験、一般入学試験、外国人留学生入学試験、社会人特別入学試験を実施し、入学者の選抜を行います。

なお、入学者の修得しておくべき知識等の内容と水準を以下の通りとします。

- (1) 博士前期課程の教育・研究を通して、専門分野において研究を遂行できる十分な学力を身につけており、論理的に思考する能力をもっていること。
- (2) 国際会議やシンポジウム等において、研究活動の成果を発表するだけでなく、国内外の研究者と議論のできる語学力とコミュニケーション能力を身につけていること。

## 【教育課程編成・実施方針】（カリキュラム・ポリシー）

### 【博士前期課程】

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって、人類の継続的な発展と幸福に貢献する、人間性豊かな高度専門職業人と研究者を養成することを目的としています。この教育目標を達成するために、以下に示す方針に基づきカリキュラムを編成しています。

#### （工学）

大学院生は、所属専攻の主要科目の中から専門分野（工学系）の専修科目を選定し、指導教員による研究指導のもとで研究課題に取り組むことにより、科学的な思考能力と、自ら問題を発見しそれを自らの発想で解決できる能力、およびその方法論を身につける。

各専攻に設置した科学技術に関する特修科目により、当該分野における専門的な学力が修得できる。さらに、全専攻に共通する広域的なテーマや学際領域に関わる授業科目をバランスよく履修することで、科学技術を実社会との関わりの中で捉える広い視野と、境界領域や新しい分野をも開拓しうる柔軟性を育成することができる。

#### （理学）

大学院生は、所属専攻の主要科目の中から専門分野（理学系）の専修科目を選定し、指導教員による研究指導のもとで研究課題に取り組むことにより、科学的な思考能力と、自ら問題を発見しそれを自らの発想で解決できる能力、およびその方法論を身につける。

各専攻に設置した自然科学に関する特修科目により、当該分野における深い専門的な学力が修得できる。さらに、全専攻に共通する広域的なテーマや学際領域に関わる授業科目をバランスよく履修することで、自然科学を社会との関わりの中で捉える広い視野と、境界領域や新しい分野をも開拓しうる柔軟性を育成することができる。

#### （建築学）

大学院生は、建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の主要科目の中から専門分野の専修科目を選定し、指導教員による研究指導のもとで研究課題に取り組むことにより、科学的な思考能力及び国際的に通用する実践的能力と、自ら問題を発見しそれを自らの発想で解決できる能力、およびその方法論を身につける。

建築・都市学専攻に設置した特修科目により、建築の特定領域における高度で専門的な学力が修得できる。さらに、全専攻に共通する広域的なテーマや学際領域に関わる授業科目をバランスよく履修することで、科学技術を社会との関わりの中で捉える広い視野と、境界領域や新しい分野をも開拓しうる柔軟性を育成することができる。

#### （学術）

大学院生は、所属専攻の主要科目の中から分野横断的かつ学際的な専門分野の専修科目を選定し、指導教員による研究指導のもとで研究課題に取り組むことにより、科学的な思考能力と、自ら問題を発見しそれを自らの発想で解決できる能力、およびその方法論を身につける。

各専攻に設置した科学技術に関する特修科目により、当該分野における専門的な学力が修得できる。さらに、全専攻に共通する広域的なテーマや学際領域に関わる授業科目をバランスよく履修することで、科学技術を社会との関わりの中で捉える広い視野と、境界領域や新しい分野をも開拓しうる柔軟性を育成することができる。

## 【博士後期課程】

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって人類の継続的な発展と幸福に貢献する、自立した研究者と高度専門職業人の養成を目的としています。

（工学）

博士後期課程に在籍する大学院生は指導教員による研究指導のもとに専門分野（工学）における研究課題に取り組み、博士学位論文の完成を目指す。大学院生自らが主体的に科学技術に関する研究テーマの設定、研究計画の立案と遂行、研究成果の発信を行い、コースワークにより専門分野（工学）における学識を深めるとともに、論理的な思考力、的確に問題点を把握し解決する能力を伸ばす。

（理学）

博士後期課程に在籍する大学院生は指導教員による研究指導のもとに専門分野（理学）における研究課題に取り組み、博士学位論文の完成を目指す。大学院生自らが主体的に自然科学に関する研究テーマの設定、研究計画の立案と遂行、研究成果の発信を行い、コースワークにより専門分野（理学）における学識を深めるとともに、論理的な思考力、的確に問題点を把握し解決する能力を伸ばす。

（建築学）

博士後期課程に在籍する大学院生は指導教員による研究指導のもとに専門分野（建築学）における研究課題に取り組み、博士学位論文の完成を目指す。大学院生自らが主体的に研究テーマの設定、研究計画の立案と遂行、研究成果の発信を行い、コースワークにより専門分野（建築学）における学識を深めるとともに、論理的な思考力、的確に問題点を把握し解決する能力を伸ばす。

（学術）

博士後期課程に在籍する大学院生は指導教員による研究指導のもとに専門分野（学際領域）における研究課題に取り組み、博士学位論文の完成を目指す。大学院生自らが主体的に研究テーマの設定、研究計画の立案と遂行、研究成果の発信を行い、コースワークにより専門分野（学際領域）における学識を深めるとともに、論理的な思考力、的確に問題点を把握し解決する能力を伸ばす。

## 【学位授与方針】（ディプロマ・ポリシー）

### 【博士前期課程】

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって、人類の継続的な発展と幸福に貢献する、人間性豊かな高度専門職業人と研究者を養成することを目的としています。

上記の目的を踏まえ、本研究科の定める修了要件を満たし、かつ、学業成績ならびに学位論文審査の結果から、以下に示す資質や能力を備えていると認められる者に対し、修士（工学、理学、建築学または学術）の学位を授与します。

（工学）

- (1) 科学技術とその実社会応用についての広範な学識と専門分野（工学）における十分な学力を身につけていること。
- (2) 論理的な思考力と問題を自ら発見し解決する能力を備えていること。

（理学）

- (1) 自然科学についての広範で深い学識と専門分野（理学）における十分な学力を身につけていること。
- (2) 論理的な思考力と問題を自ら発見し解決する能力を備えていること。

（建築学）

- (1) 科学技術についての広範な学識と専門分野（建築学）における十分な学力を身につけていること。
- (2) 論理的な思考力と問題を自ら発見し解決する能力に加えて国際的環境における建築・都市デザインの実践に必要な外国語コミュニケーション能力を備えていること。

（学術）

- (1) 分野横断的な学識と専門分野（学際領域等）における十分な学力を身につけていること。
- (2) 論理的な思考力と問題を自ら発見し解決する能力を備えていること。

### 【博士後期課程】

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって人類の継続的な発展と幸福に貢献する、自立した研究者と高度専門職業人の養成を目的としています。

そこで、博士後期課程では、上記の教育目的を踏まえ、本研究科の定める博士学位請求の要件を満たし、かつ、学位請求論文審査の結果から、以下に示す資質や能力を備えていると認められる者に対し、博士（工学、理学、建築学または学術）の学位

を授与します。

(工学)

- (1) 研究テーマの設定から実社会への還元を視野に入れた成果の発信に至る研究活動を自ら遂行する能力を有していること。
- (2) 自立した研究者、高度専門職業人に必要な専門的な研究能力とその基礎となる工学分野における豊かな学識、及びそれに基づき新たな価値を創造できる能力を備えていること。

(理学)

- (1) 研究テーマの設定から成果の発信に至る研究活動を自ら遂行する能力を有していること。
- (2) 自立した研究者、高度専門職業人に必要な専門的な研究能力とその基礎となる理学分野における豊かな学識、及びそれに基づく成果を社会に還元し自然科学の進展に貢献する能力を備えていること。

(建築学)

- (1) 研究テーマの設定から成果の発信に至る研究活動を自ら遂行する能力を有していること。
- (2) 自立した研究者、高度専門職業人に必要な専門的な研究能力とその基礎となる建築学分野における豊かな学識、及び新たな価値を創出し国際社会における先導的役割を担える能力を備えていること。

(学術)

- (1) 研究テーマの設定から成果の発信に至る研究活動を自ら遂行する能力を有していること。
- (2) 自立した研究者、高度専門職業人に必要な専門的な研究能力とその基礎となる学際領域における広く豊かな学識を備えていること。

## 【人材養成その他教育研究上の目的】

### 【理工学研究科】

理工学研究科では、自然の法則と数理の構造を理解し、それらを応用して、人類が継続的に発展し、幸せに生きることを実現する、すなわち、理と工の融合を目指して教育・研究活動を行っている。この目的達成のため、応用を考慮した基礎科目と基礎理論に基づいた応用科目、そして広範な分野への適用を考慮した境界領域科目の設置をカリキュラムの基本方針とし、科学技術のみならず、社会・人文科学分野等において領域横断的に活躍ができ、時代の変化とともに新たな分野に積極的に挑戦し、さらには国際的に通用する実力を身につけた、人間性豊かな研究者と高度専門職業人の養成を目標とする。

### 【電気工学専攻】

電気工学専攻では、電気工学の専門知識を土台に電気工学にかかわる特修科目を修得し、科学的センスと創造性を身につけた高度に専門性の高い技術者として広い分野において指導的立場で活躍が期待できる「個」の確立した人材の育成を目指す。幅広い視野に立って電気工学を土台に理学、工学を融合した高度に専門性の高い研究・教育を行い、多様化と専門化が求められている現状に即した電気工学系研究者・技術者を養成する。

博士前期課程では、電気工学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた電気系技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程までに身につけた知識・技術に加え、分野横断的な教養に基づいて新たな価値を創造し、未来を牽引する先導的かつ指導的な技術者・研究者を育成する。

### 【機械工学専攻】

機械工学専攻では、幅広い機械工学の各分野及びその関連分野を有機的に結びつけることで、社会の要請に応じた新たな技術・システムの実現に寄与することを目指す。このために、高度な専門知識・創造力と高い倫理観・使命感を基に自ら考え行動でき、国際性に富んだ機械系技術者・研究者を育成するとともに、機械工学分野の深化・拡張・発展に資する研究を実施し、研究成果と教育力を社会に還元することを目的としている。

博士前期課程では、機械工学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた機械系技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程までに身につけた知識・技術に加え、分野横断的な教養に基づいて新たな価値を創造し、未来を牽引する先導的かつ指導的な技術者・研究者を育成する。

### 【建築・都市学専攻】

建築・都市学専攻では、建築・都市を中心とする空間環境の創造・再生を多様な立場で担い、国際的視野に立って人間を取り巻く環境・社会・文化の持続可能な発展に貢献できる人材の育成を目指す。この人材養成の目的を達成するため、確固たる建築学術の体系を踏まえた総合性・横断性・革新性を支える教育研究基盤の確立、国際的環境で通用する建築・都市デザインのプロフェッショナルの育成、環境創造の基礎となる芸術・文化的教養の再定義が肝要である。これを踏まえて、本専攻に、建築学系、国際建築都市デザイン系及び総合芸術系を置く。

### (建築学系)



建築学系では、確固たる建築学術の体系を踏まえつつ、横断性・総合性・革新性をもって人間環境の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指す。安心・安全かつ快適な自然環境と調和した社会の持続を、空間環境の創造という側面から実現していくことを究極的な目的とし、確固たる体系に基づいた教育研究により、社会的に信頼される技術者や研究者を養成する。

博士前期課程では、歴史・意匠・計画、建築構造・材料及び建築環境・設備にかかわる高度な知識と先端技術を有する研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。

### 〔国際建築都市デザイン系〕

国際建築都市デザイン系では、国際的環境で通用する建築・都市デザインのプロフェッショナル、特に国際的環境において建築・都市の創造・再生を実践的に担えるプランナーやデザイナーを育成する。

博士前期課程では、国際的な環境における建築デザイン・都市デザインの実践に必要な知識、語学力及び技能を有する研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、国際社会での先導的役割を担う研究者・教育者・実務家を育成する。

### 〔総合芸術系〕

総合芸術系では、芸術文化の歴史と現在に対する洞察と、自然と社会の環境への適切な配慮を、創造的な研究へとつなげていくことのできる人材を育成する。

博士前期課程では、特定の芸術分野における深い知識と、分野を横断する広い知識を併せ持つ研究者・教育者・作家を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った研究の専門性を一層高め、各芸術分野においてより先導的役割を担う人材を育成する。

### 〔応用化学専攻〕

応用化学専攻では、基礎から高度な応用まで幅広い視野と独創性を持った科学者・技術者の育成を目指す。そのために、化学の基礎から境界領域を含めた幅広い応用研究までを対象とし、理学・工学両面から思考するために必要な教育と研究を行う。

博士前期課程では、化学産業のニーズに即戦力として応えうる応用技術研究のみならず、基礎化学も含めた広範な分野にわたる知識を有する研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で養った能力を生かし、新たな分野の発想力・発想を実現する計画の実行力を兼ね備えた将来の化学技術の発展を担いうる斬新で柔軟な発想を持つ研究者を育成する。

### 〔情報科学専攻〕

情報科学専攻では、時代を切り開く豊かな創造力と柔らかな思考力の育成を目指す。変化の激しい時代に対応できる問題発見能力と解決能力を身につけさせるため、基礎的な力を更に強化した上で、専門領域に関する実践的で高度な内容の教育を行う。また、国際性豊かな創造力と幅広い視野を持つ情報科学の専門家の育成を行う。研究を通し、その専門領域での研究開発能力を身につけ、有用で新規性のある研究成果や作品を国内外に発信する。

博士前期課程では、情報科学の高度な理論を理解し、それを実際のシステムの開発や運用に活用できる人材を育成する。博士後期課程では、情報科学の高度な理論を新規に作り出し、それを応用したシステムを構築できる独立した研究者又は高度な専門性を有する開発者を育成する。

### 〔数学専攻〕

数学専攻における人材養成の目的には、数学を「使う」、「創る」及び「伝える」という3つの側面がある。特に大学院教育においては、上記のいずれか1つではなくすべてが、互いに無関係のものとしてではなく、密接に結びついた形で、人材養成の目的に寄与するよう学生の指導を行う。

博士前期課程では、学生が数学を含む科学技術全体を鳥瞰する独自の観点を構築し、それを修了後の社会的活動の礎とするべく、数学を使い、創り、伝える能力を養成する。また、博士後期課程では、数学を「創る」側面に重点を置き、その成果が社会に還元されるよう特段の努力を払うように学生を導く。

### 〔物理学専攻〕

物理学専攻では、自然法則の理解に裏打ちされた正しい自然観を備え、あらゆる場面でその根本原理に基づいて現象を演繹的に理解しようとする物理的思考ができる人材の育成を目指す。

博士前期課程では、物理学の知見や論理的な思考方法を生かして、社会に貢献できる研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、主体的に物理学の研究を推進し、その成果をもって自然科学の進展に貢献しうる研究者の育成を目指す。

## 1. 入学試験日程一覧

筆記試験及び口頭試問は明治大学生田キャンパスで実施します。試験時間割は「4. 試験時間割・筆記試験科目」を参照してください。また、試験当日の集合時間・場所・スケジュール等の詳細は、受験票送付時に通知します。

### 博士前期課程・博士後期課程

(建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系以外)

入試期	入試種別	出願期間 (日本国内発送は締切 当日消印有効)	試験日	合格発表 日時	入学手続 締切日
I 期	一般 外国人留学生 社会人特別	2022/6/6(月) ～6/10(金)	2022/7/16(土)	2022/8/2(火) 13時	2023/3/10 (金) 予定
II 期	一般 外国人留学生 社会人特別 飛び入試 (博士前期課程のみ対象)	2022/12/5(月) ～12/9(金)	2023/2/22(水)	2023/2/28(火) 13時	

(建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系のみ)

入試期	入試種別	出願期間 (日本国内発送は締切 当日消印有効)	試験日	合格発表 日時	入学手続 締切日
I 期	一般 外国人留学生 (A方式を含む) ※1 社会人特別	2022/6/6(月) ～6/10(金)	2022/7/16(土)	2022/8/2(火) 13時	2023/3/10 (金) 予定
	外国人留学生 (B方式のみ) ※1 (日本国外在住者対象) ※2		書類選考のみ		
II 期	一般 外国人留学生 (A方式を含む) ※1 社会人特別	2022/11/1(火) ～11/4(金)	2023/2/22(水)	2023/2/28(火) 13時	
	外国人留学生 (B方式のみ) ※1 (日本国外在住者対象) ※2		書類選考のみ	2022/12/6(火) 13時	

※1 外国人留学生 A 方式及び B 方式は、博士前期課程志願者のみ対象の区分です。

※2 建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の外国人留学生 B 方式は、日本以外の国籍を有し、出願時点で日本国外に在住している (日本国内に住民登録のない) 志願者で、試験のために来日することができない方が対象です。日本国内在住者は A 方式に出願してください。

## 2. 入学定員

専攻 課程	電気工学	機械工学	建築・ 都市学	応用化学	情報科学	数学	物理学
博士前期課程	82	86	80	40	40	15	16
博士後期課程	6	7	7	5	3	3	3

※入学定員は、2022 年度中に実施する全入学試験の募集人員総数を示す。

### 3. 出願資格

#### (1) 一般入学試験

##### 博士前期課程

以下の①から⑩のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び 2023 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2023 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2023 年 3 月 31 日までに学位を授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣が指定した者<sup>(注1)</sup>
- ⑨ 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、各研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者<sup>(注2)</sup>
- ⑩ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者<sup>(注1)</sup>

##### 出願資格の注意事項

注1) 出願資格のうち、⑧あるいは⑩に該当し、一般入学試験の受験を希望する場合は、事前に理工学部事務室大学院係まで申し出たうえで出願資格審査申請書書式を理工学研究科ウェブサイトから入手し、期日までに下記の全ての必要書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。

【期日】(必着) I 期入試: 4 月 18 日(月)

II 期入試: 10 月 17 日(月)\*

※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系 II 期入試出願希望者は 9 月 12 日(月)が期日です。

【出願資格審査に必要な書類】

- ①「出願資格審査申請書」(本学の指定様式)、②通常の出願書類一式、③その他研究科が必要と認める書類

注2) 出願資格⑨に該当する者は、11～12 ページ「飛び入学試験」を参照してください。



## 博士後期課程

以下の①から⑧のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2023 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2023 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2023 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ④ 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2023 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2023 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、④の教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者<sup>(注1)</sup>
- ⑦ 文部科学大臣が指定した者<sup>(注1)(注2)</sup>
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2023 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者<sup>(注1)(注2)</sup>

### 出願資格の注意事項

注 1) 出願資格のうち、⑥、⑦あるいは⑧に該当し、一般入学試験の受験を希望する場合は、事前に理工学部事務室大学院係まで申し出たうえで出願資格審査申請書書式を理工学研究科ウェブサイトから入手し、期日までに下記の全ての必要書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。

【期日】(必着) I 期入試: 4 月 18 日(月)

II 期入試: 10 月 17 日(月)\*

※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系 II 期入試出願希望者は 9 月 12 日(月)が期日です。

【出願資格審査に必要な書類】

①「出願資格審査申請書」(本学の指定様式)、②通常の出願書類一式、③その他研究科が必要と認める書類

注 2) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認めた者。あるいは、外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

## (2) 外国人留学生入学試験

### 博士前期課程

日本国以外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下①～④のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者<sup>(注1)</sup>
- ② 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに学位が授与される見込みの者
- ③ 日本において、外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び2023年3月31日までに卒業見込みの者
- ④ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日までに22歳に達する者<sup>(注1)</sup>

※ 初等・中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められる場合があります。出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格の審査を受けてください。

### 【試験区分】(建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系のみ)

区 分	出 願 条 件
A方式 本学受験方式	出願時点において、日本国内に住民登録をし、在住している者。又は、現在の所属機関の担当教員等による2通の推薦書を得ることが困難な者。
B方式 書類選考方式	出願時点において、日本国内に住民登録をしておらず、日本国外に在住し、本学における入学試験を受験することが困難な者で、現在の所属機関の担当教員等による2通の推薦書を得られる者。

### 博士後期課程

日本国以外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下①～③のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む。）を授与され、外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者
- ② 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む。）を授与され、日本の大学院において外国人留学生として修士の学位又は専門職学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日までに24歳に達する者<sup>(注1)(注2)</sup>

※ 初等・中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められる場合があります。出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格の審査を受けてください。

### 出願資格の注意事項

注1) 出願資格の博士前期課程①で「学士」の学位又はその上位に相当する学位を有していない者、博士前期課程④、あるいは博士後期課程③のいずれかに該当し、外国人留学生入学試験の受験を希望する場合は、事前に理工学部事務室大学院係まで申し出たうえで出願資格審査申請書書式を理工学研究科ウェブサイトから入手し、期日までに下記の全ての必要書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。

【期日】(必着) I期入試: 4月18日(月)

II期入試: 10月17日(月)※

※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系II期入試出願希望者は9月12日(月)が期日です。

【出願資格審査に必要な書類】

- ①「出願資格審査申請書」(本学の指定様式)、②通常の出願書類一式、③その他研究科が必要と認める書類

注2) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認めた者。あるいは、外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

1. 日本在住者の出願は、進学又は勉学を目的とし、「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」等を取得又は更新できる者でなければなりません。
2. 日本国外からの出願は、明治大学大学院が発行する「受験許可証」(「9. ビザ(査証)について」を参照)によってビザ(査証)を取得し、所定の期

### (3) 社会人特別入学試験

理工学研究科では、開かれた大学として社会の要請に応え、社会人(有職者)の方々を、(在職のまま)正規の学生として受け入れています。

#### 博士前期課程

前記、一般入学試験博士前期課程の①から⑩のいずれかの出願資格を有する者で、(ア)又は(イ)の条件を満たす者  
(ア)企業、教育機関、官公庁等に2年以上在職し、かつ、所属長の承諾書を提出できる者  
(イ)企業、教育機関、官公庁等に3年以上在職した経験を持ち、2023年3月31日までに25歳に達する者で、志望する指導教員の推薦書及び在職期間を証明できる書類を提出できる者

#### 博士後期課程

前記、一般入学試験博士後期課程の①から⑧のいずれかの出願資格を有する者で、(ア)又は(イ)の条件を満たす者  
(ア)企業、教育機関、官公庁等に在職し、特定の専門領域に関し、適切かつ明確なテーマを持ち、かつ、所属長の承諾書を提出できる者  
(イ)企業、教育機関、官公庁等に5年以上在職した経験を持ち、2023年3月31日までに27歳に達する者で、志望する指導教員の推薦書及び在職期間を証明できる書類を提出できる者

### (4) 飛び入学試験

理工学研究科では、博士学位の取得を目指す者のうち、特に優れた資質を有する者に、早期から大学院教育の道を開くことを目的とする飛び入学試験制度を実施しています。

#### 博士前期課程

明治大学大学院理工学研究科博士後期課程への進学を強く希望する者で、次の①又は②、及び各専攻の定める出願資格を有する者。

- ① 大学に3年以上在学し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者<sup>(注1)</sup>
- ② 外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者<sup>(注1)</sup>

※合格後、入学するためには各専攻の定める入学資格を満たす必要があります。

## 各専攻の飛び入学試験出願資格及び入学資格

専攻	出願資格 (次の条件を全て満たす者)	入学資格 (飛び入学試験に合格した者でも、3年次修了時点において、次の要件を満たさない者については、入学を許可しない。)
電 気 工 学	ア. 出願時において、専攻に対応する学科の3年次に在学中の者 イ. 所属する大学のゼミ担当者又は学科長等の推薦書を提出できる者	ア. 所属学科における成績順位が上位3%以内にある者 イ. 学部3年次までの成績証明書を、入学手続締切日の前々日までに、提出できる者
情 報 科 学	ア. 出願時において、専攻に対応する学科の3年次に在学中の者 イ. それぞれの所属学科における成績順位が上位5%以内にある者 ウ. 他大学に在学中の志願者については、当該学科長又はそれに準ずる者による志願者の成績に関する証明文書及び責任ある教員の推薦書を提出できる者	ア. 所属学科における成績順位が、上位5%以内にある者 イ. 学部3年次までの成績証明書を、入学手続締切日の前々日までに、提出できる者

※機械工学専攻、建築・都市学専攻、応用化学専攻、数学専攻、物理学専攻は飛び入学試験は実施しません。

### 出願資格の注意事項

注1) 飛び入学試験志願者については、事前の出願資格審査を必要とするので、事前に理工学部事務室大学院係まで申し出たうえで、出願資格審査申請書書式を理工学研究科ウェブサイトから入手し、期日までに下記の全ての必要書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。

【期日】(必着)Ⅱ期入試：10月17日(月)※

#### 【出願資格審査に必要な書類】

①「出願資格審査申請書」(本学の指定様式)、②通常の出願書類一式、③その他研究科が必要と認める書類

#### 4. 試験時間割・筆記試験科目

##### (1) 博士前期課程一般・外国人留学生・社会人特別入学試験・飛び入学試験※

※飛び入学試験は、情報科学専攻のみ筆記試験実施。

専攻(系) \ 時間	1時限 9 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0	2時限 1 1 : 4 0 ~ 1 2 : 4 0	午後
電 気 工 学 専 攻	それぞれの専攻に関する 基礎科目・専門科目 (配点200点)	英 語※ (配点100点)	口頭試問 (注3) (注4)
機 械 工 学 専 攻			
建 築 ・ 都 市 学 専 攻			
建 築 学 系			
応 用 化 学 専 攻			
情 報 科 学 専 攻			
数 学 専 攻			
物 理 学 専 攻			※試験開始時刻 は受験票に同封 される通知を参 照してください
建 築 ・ 都 市 学 専 攻 国際建築都市デザイン系 (留学生B方式を除く)	筆記試験は実施しません。		
専攻(系) \ 時間	1時限 9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	2時限 1 1 : 4 0 ~ 1 2 : 4 0	
建 築 ・ 都 市 学 専 攻 総 合 芸 術 系	小 論 文 (注1) (配点100点)	英 語 (注2) (配点100点)	

※ 後記の「② 博士前期課程「英語」試験の取扱いについて」を確認すること。

- (注1) 建築・都市学専攻総合芸術系の外国人留学生入学試験の「小論文」については、試験問題の言語として和文又は英文いずれかを選択することができる。英文を選択する場合、A票(入学志願票)の筆記試験受験科目欄に「小論文(英文)」と記載すること。
- (注2) 建築・都市学専攻総合芸術系の志願者で、英語圏の国籍保有者もしくは英語による学校教育の課程修了(見込み)者は、証明書類の提出等により、「英語」試験を免除することがある。免除を希望する志願者は、必ず事前に理工学部事務室大学院係に申し出たうえ、「3. 出願資格」の項に記載された出願資格審査期日までに、証明書類を提出すること。
- (注3) 建築・都市学専攻総合芸術系の志願者で、修士研究の一部として作品制作を希望する者は、口頭試問時にポートフォリオ(作品集)を提示することができる。ポートフォリオをパソコンからスライド投影して提示したい者は、パソコンと、RGBケーブルまたはHDMIケーブルに接続するためのアダプターを持参すること。
- (注4) 建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系(留学生B方式を除く)の口頭試問については、英語で行う。出願時に提出したポートフォリオ作品の補足説明をする際に、作品ボード、模型などの使用を希望する者は、口頭試問時に持参することができる。

##### ① 博士前期課程「基礎科目・専門科目」出題範囲

専 攻 ・ 系	出 題 範 囲
電気工学専攻	「電気磁気学」及び「電気回路」の分野から出題する。電気磁気学2題、電気回路2題、合計4題が出題され、4題全て解答すること。
機械工学専攻	「材料力学」「設計・生産工学(信頼性工学を含む)」「熱・流体力学」「機械力学」「メカトロニクス・制御」の各分野から出題され、全てを解答すること。
建築・都市学専攻 建築学系	建築学全般
応用化学専攻	1. 基礎科目「無機化学」「有機化学」「物理化学」から出題する。 2. 専門科目「無機化学」「有機化学」「化学工学」「分析化学」の分野から4題出題する。 1は全てを解答し、2は2題を選択して解答すること。
情報科学専攻	以下の6題のうち4題を選択して解答すること。 「数学」「プログラミング」「基礎」「ソフトウェア」「ハードウェア」「応用」
数学専攻	1. 基礎科目「線形代数学」「微分積分学」から各1題 2. 専門科目「代数学」「幾何学」「解析学」から各2題出題する。1に関しては2題全問、2に関しては6題から1題を選択して解答すること。
物理学専攻	物理学専攻の一般・外国人留学生入学試験は、基礎科目及び専門科目を以下の分野から出題する。 ①「力学」②「電磁気学」③「量子力学」・「統計力学」、①②及び③全てを解答すること。



## ② 博士前期課程「英語」試験の取扱いについて

専攻（系）	「英語」試験の取扱い	
	外部英語試験スコアによる選考 <sup>(注1)</sup>	本学実施の筆記試験による選考
電 気 工 学 専 攻	いずれかを選択可 <sup>(注2)</sup> ※出願後の変更不可	
機 械 工 学 専 攻	実施する	実施しない
建 築・都市学専攻 建 築 学 系	実施する	実施しない
建 築・都市学専攻 国際建築都市デザイン系	実施しない。ただし出願書類として 外部英語試験スコアの提出が必要	実施しない
建 築・都市学専攻 総 合 芸 術 系	いずれかを選択可 <sup>(注2)</sup> ※出願後の変更不可	
応 用 化 学 専 攻	いずれかを選択可 <sup>(注2)</sup> ※出願後の変更不可	
情 報 科 学 専 攻	実施する	実施しない
数 学 専 攻	いずれかを選択可 <sup>(注2)</sup> ※出願後の変更不可	
物 理 学 専 攻	いずれかを選択可 <sup>(注2)</sup> ※出願後の変更不可	

(注1) 外部英語試験スコアとは、TOEIC®L&R、TOEFL iBT®, いずれかを指す。

(注2) 外部英語試験スコアによる選考又は本学実施の筆記試験による選考を選択可能な専攻(系)の志願者は、出願時にいずれかを選択しA票(入学志願票)の筆記試験受験科目欄に記入すること。出願後の変更は一切認めない。(21ページ参照)。

【参考】外部英語試験の得点換算は下表のとおりです。

	満点	零点
TOEIC®L&R	730	230
TOEFL iBT®	80	25

## (2) 博士後期課程一般・外国人留学生・社会人特別入学試験

専攻（系）		時間	
電 気 工 学 専 攻		1 1 : 4 0 ~ 1 2 : 4 0	午後
機 械 工 学 専 攻			
建築・都市学専攻 (注1) (注2) (注3)			
応 用 化 学 専 攻			
情 報 科 学 専 攻			
数 学 専 攻			
物 理 学 専 攻			
		英 語※ (配点 1 0 0 点)	口頭試問  ※試験開始時刻は受験票に同封される通知を参照してください。

※ 後記の「① 博士後期課程「英語」試験の取扱いについて」を確認すること。

(注1) 建築・都市学専攻総合芸術系の志願者で、英語圏の国籍保有者もしくは英語による学校教育の課程修了（見込み）者は、証明書類の提出等により、「英語」試験を免除することがあるので、必ず事前に理工学部事務室大学院係に申し出たうえ、「3. 出願資格」の項に記載された出願資格審査期日までに、証明書類を提出すること。

(注2) 建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の英語問題は英語によるエッセイとします。

(注3) 建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の口頭試問については、英語で行う。

## ① 博士後期課程「英語」試験の取扱いについて

専攻（系）	「英語」試験の取扱い	
	外部英語試験スコアによる選考 <sup>(注1)</sup>	本学実施の筆記試験による選考
電 気 工 学 専 攻	いずれかを選択可 <sup>(注2)</sup> ※出願後の変更不可	
機 械 工 学 専 攻	実施する	実施しない
建 築・都市学専攻	実施しない	実施する
応 用 化 学 専 攻	実施しない	実施する

専攻（系）	「英語」試験の取扱い（注3）	
	外部英語試験スコアによる選考（注1）	本学実施の筆記試験による選考
情報科学専攻	実施する	実施しない
数学専攻	実施しない	実施する
物理学専攻	いずれかを選択可（注2）※出願後の変更不可	

（注1）外部英語試験スコアとは、TOEIC®L&R、TOEFL iBT®, いずれかを指す。

（注2）外部英語試験スコアによる選考又は本学実施の筆記試験による選考を選択可能な専攻（系）の志願者は、出願時にいずれかを選択しA票（入学志願票）の筆記試験受験科目欄に記入すること。出願後の変更は一切認めない。得点換算については、下記を参考のこと。

【参考】外部英語試験の得点換算は下表のとおりです。

	満点	零点
TOEIC®L&R	730	230
TOEFL iBT®	80	25

## 5. 試験当日の注意事項

- 出願手続に不備が無い志願者に、受験番号を付した受験票を送付します。受験には受験票が必要です。試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票を持たない者の受験は認めません。
- 筆記試験を始める前に注意事項の説明及び顔写真照合を行いますので、研究科から指定された集合時刻までに所定の場所に着席してください。集合時刻を過ぎて到着した場合、注意事項の再説明は行いません。
- 試験開始後、30分を過ぎて入室した者の受験は認めません。
- 筆記試験場及び集合時刻は、受験票発送の際に通知します。
- 口頭試問についての詳細は、筆記試験当日に発表します。
- 時計・携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末・ウェアラブル端末等のアラーム設定を解除し、通信機能や撮影機能がある機器は全て電源を切り、カバン等にしまってください。時計としての使用も認めません。カバンの中で携帯電話等が鳴った場合は、監督者が本人の了解を得ずにカバン等を試験場の外に持ち出すことがあります。
- 不正行為があるとみなされた場合は、それ以降の受験を認めません。
- 入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。  
※ 新型コロナウイルス感染症に係る事項については、確定次第別途周知します。

注1）受験票は入学試験日の7日前までに届くよう発送します。受験日の7日前になっても受験票が届かない場合は、理工学部事務室大学院係へ連絡ください。

注2）受験票を忘失した場合は、入学試験当日に理工学部事務室で再発行します。発行手続の時間を考慮し、早めに来校してください。再発行には、本人確認のため、写真付身分証明書（運転免許証・パスポート・在留カード）の提示が必要です。写真付身分証明書をお持ちでない場合は、健康保険証・年金手帳等を提示していただきます。

- 試験当日、降雪や事故、台風等による交通機関の混乱が生じた場合、入学試験の実施に関する情報は明治大学の研究科ホームページでお知らせします。志願した研究科のページで確認してください。
- 自然災害や火災・停電・公共交通機関遅延等の不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験会場の変更及び日程の延期等の措置をとることがあります。なお、このことに伴う受験生の個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。
- 自然災害や交通機関の事故・運休・遅延・ストライキ等の不測の事態が発生しても、試験時間繰り下げ等の措置を講ずることができない場合があります。遠距離移動がある場合や悪天候等が予想される場合には、あらかじめ試験場付近に宿泊場所を確保する等の対策を講じてください。なお、これらのことによって生じた受験生の負担費用、その他個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。

## 6. 合格発表

- (1) 合格発表日時は「入学試験日程一覧」を参照してください。
- (2) 合格発表は、理工学研究科ウェブサイトで行います。
- (3) 発表と同時に、Ⅰ期入試合格者には合格通知書、Ⅱ期入試合格者には合格証及び入学手続書類をA票（入学志願票）に記載されている住所宛に郵便で送付します。大学での直接交付は行いません。

注1）電話等による合否についての問い合わせには一切応じません。

注2）入学手続書類は、合格発表後に発送しますので、地域によっては2～3日要する場合もあります。

注3）合格したにもかかわらず、合格証及び入学手続書類が手元に届かない場合は、必ず理工学部事務室大学院係へ連絡してください。

注4）卒業又は修了見込みの者が卒業・修了できなかった場合（指定された期日までに卒業・修了証明書や学位取得証明書の提出が無い場合）、試験に合格しても入学を認めません。また、出願書類の記載事項等に虚偽があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。

## 7. 出願書類一覧

### (1) 全志願者が提出する書類

提出書類	所定書式	各自用意	P. 17 以降の準備・作成要領の番号
A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	○		①, ③
入学志願書	○		②
研究計画書	○		④
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書		○	⑤
成績証明書		○	⑥
出願書類チェックリスト	○		⑮

### (2) 対象者のみ提出する書類

対象者	提出書類	所定書式	各自用意	P. 17 以降の準備・作成要領の番号
外部英語試験による選考を実施する専攻の志願者（注1）	TOEIC®又はTOEFL®のスコアシート原本※ ※博士前期課程建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の志願者のみ、TOEIC®又はTOEFL®原本のほか、IELTS®「Test Report Form」写しの提出を選択することが可能。		○	⑦
外国の大学・大学院を卒業・修了した者	学位取得証明書（※卒業・修了証明書の提出は不要）		○	⑧
日本国以外の国籍保有者（特別永住者を除く）	推薦書（※他大学・他研究科からの志願者のみ）		○	⑨
	経費支弁方法計画書	○		⑩
	パスポート顔写真ページのコピー		○	⑪
	在留カードの表面と裏面のコピー（日本在住者のみ）		○	⑫
博士前期課程建築・都市学専攻建築学系の志願者	指導教員希望調査票	○		⑮
博士前期課程建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の志願者	指導教員希望調査票	○		⑮
	作品集（ポートフォリオ）		○	⑰
	作品集（ポートフォリオ）証明書	○		⑱
	履修・修得科目の内容を証明する書類（シラバス等）		○	⑲
社会人特別入学試験志願者	出願資格を証明する書類	○		⑬
飛び入学試験志願者	出願資格を証明する書類		○	⑭
出願資格審査を受ける必要がある志願者（※出願資格の項参照）	出願資格審査申請書	○		—

（注1）外部英語試験スコア要否は、14～15ページ記載の「英語」試験の取扱いに関する項目を、必ず確認してください。

## 8. 出願手続き

### (1) 出願方法

- ① 出願書類の提出は郵送のみ受付けます。入学検定料納入後、角型 2 号封筒を各自で用意し、封筒表面にダウンロードした出願用宛名用紙を貼付して、郵便局から「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。
- ② 出願期間内に全ての出願書類を提出してください。出願期間内に提出された出願書類のみを有効とします。全ての出願書類が出願期間内に提出されない場合、受験を認めません。日本国内から郵送する場合は、出願締切日の消印有効です。
- ③ 海外から出願する場合、EMS（国際スピード郵便）で郵送してください。また、各出願期間の最終日必着とします。出願書類の提出にあたっては、できる限り日本に在住する代理人が、出願書類を郵送してください。
- ④ 一度提出した出願書類は、返還できません。
- ⑤ 身体等の機能に障がいがあり、受験及び修学上、配慮を希望する方は、出願締切日の 3 週間前までに理工学部事務室大学院係に申し出てください。

### (2) 出願書類の準備・作成要領と注意事項

- ① 出願書類の記載事項等に虚偽があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。正確な情報を記載してください。
- ② 志望する専攻(系)の必要出願書類を確認し、注意事項に従って記入してください。
- ③ 書類の記入には消えない黒のボールペンを使用し、楷書で丁寧に記入してください。
- ④ 所定書式の※印欄は記入しないでください。
- ⑤ B～D 票（検定料振込用紙）は切り離さず記入してください。
- ⑥ 年号は西暦を使用してください。

①A 票（入学志願票）	後述の「A 票の記入方法」を参照し、記入してください。
②入学志願書 （所定書式）	<p>(1) 理工学研究科ウェブサイト上に公開されている【見本】を参照し、記入してください。</p> <p>(2) 下記注意事項を確認し、A 票（入学志願票）と同一の出願前 3 か月以内に撮影したカラー写真を貼付してください。  ア. 光沢仕上げ、正面、上半身、脱帽、背景及び枠なし（スナップ写真・カラープリンター出力写真は不可）  イ. 受験時に眼鏡着用の方は、眼鏡着用の写真を貼付ください。  ウ. 提出された写真を利用して、入学後、在学期間を通して使用する学生証を作成します。  エ. 日本国外の出願者のうち、受験のための短期滞在ビザを取得するため、本学の受験許可証の発行を希望する者は、この他に同一の写真 1 枚（4cm×3cm）が必要となります（「10. ビザ(査証)について」参照）。</p> <p>(3) 日本国籍以外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く）は、外国籍用の入学志願書を使用してください。</p> <p>(4) 博士後期課程のすべての専攻、並びに、博士前期課程の機械工学専攻、情報科学専攻、物理学専攻の志願者は、出願前に志望する指導教員に必ず事前相談の上、チェックボックスにチェックを記入してください。</p>
③B 票（振込連絡票）	検定料納入後、金融機関の収納印が押印されていること、又は収納証明書が貼付されていることを確認し、提出してください。（詳細は、「(4) 入学検定料の納入」を参照）
④研究計画書	<b>所定用紙（A 4 一枚以内）の枠内</b> に入学後の研究計画と将来の志望進路をできる限り具体的に記入してください。 建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系志願者は、英語にて記入すること。
⑤卒業(修了)証明書、 又は卒業(修了)見込 証明書 ⑥成績証明書	<p>(1) すべての出身大学・大学院の卒業(見込)・修了(見込)証明書・成績証明書の原本を提出してください。</p> <p>(2) 氏名及び生年月日、入学年月、卒業(修了)年月の記載が必須となります。（注 1）</p> <p>(3) 外国の大学・大学院を卒業(修了)した者は、成績証明書及び「⑧学位取得証明書」を提出してください。（卒業・修了証明書は不要です。）詳細は、「(3) 外国の教育機関を卒業・修了(見込)した場合の各種証明書について」を参照してください。</p> <p>(4) 編入学を経て卒業した者は、卒業時と編入学前の両方の成績証明書を提出してください。</p> <p>(5) ダブル・ディグリー制度により 2 つの大学から学位を取得している者（見込みを含む）は、原則として双方の大学の証明書を提出してください。</p> <p>(6) 科目等履修生・研究生・聴講生等も「在学証明書」と「成績証明書」の原本を提出してください。</p> <p>(7) 博士後期課程志願者のうち、明治大学大学院博士前期課程・修士課程修了者、修了見込者（専門職大学院修了・修了見込者を除く）は、学部の卒業・成績証明書は必要ありません。明治大学大学院博士前期課程・修士課程の修了(見込)証明書及び成績証明書のみ提出してください。</p> <p>(8) 退学、除籍者は、それがわかる証明書を提出してください。</p> <p>(9) 卒業見込者は出願時の 3 ヶ月以内、既卒者は卒業後に発行された証明書を提出してください</p> <p>(10) 卒業(修了)証明書と成績証明書が同一となっている証明書を、両書類の代替とできます。</p> <p>(11) 各証明書が出願期間内に提出されない場合、受験を認めません。</p> <p>（注 1）婚姻等の事由により戸籍と証明書の氏名が異なる場合、戸籍抄本を添付してください。</p>

⑦外部英語試験の スコアシート	<p>「外部英語試験スコアによる選考」を行う専攻・系（14～15ページ参照）の志願者、及び選択が可能な専攻・系の志願者で「外部英語試験スコアによる選考」を選択した者は、スコアシートの提出が必須です。詳細は下記を確認してください。</p> <p>(1) 以下に定める「TOEFL®」、「TOEIC® L&amp;R」又は「IELTS」（7桁ミッド）の公式スコアを提出してください。</p>	
	TOEIC® L&R	Official Score Certificateの原本（コピー不可）を提出してください。TOEIC-IPは不可。
	TOEFL®	<p>必要な手続きについて（①と②の両方を完了してください。）</p> <p>①Official（Institutional）Score Reportの直送手続き  <b>試験実施団体である米国 ETS（Educational Testing Service）から明治大学大学院に直接郵送されるよう手続きをしてください。</b>            ◎Official（Institutional）Score Reportの発行手続きについて            申請に必要なコード番号 明治大学大学院の Institution Code : <u>5132</u></p> <p>②スコアの証明書番号 Appointment number (Registration number)等の連絡            出願書類チェックリストに Appointment number (Registration number), 本学への直送手続き日, 受験日を記載してください。</p> <p>【TOEFL®受験後に申請する場合】            ETS Web サイト「My TOEFL Home」における Test taker report に Appointment number が記載されています。</p> <p>【TOEFL®受験前に申請する場合】            ETS Web サイト「My TOEFL Home」のスコア送付確認画面から『View My Orders』で確認してください。</p> <p>注 1) 「Official (Institutional) Score Report」は請求してから送付されるまで、かなりの日数を要することがあります。ETS への請求は提出期限の 6 週間以上前を目途に行ってください。</p> <p>注 2) スコア請求方法については、CIEE (TOEFL®テストの日本事業部) 又は ETS Web サイトを参照してください。            (参照 CIEE Web サイト URL : <a href="http://www.cieej.or.jp/">http://www.cieej.or.jp/</a>)</p> <p>注 3) 受験者に送付される「Examinee Score Report (Test Taker Score Report)」は受け付けません。</p> <p>注 4) iBT®のスコアのみ有効とします。</p> <p>注 5) MyBest™スコアは利用できません。</p> <p>注 6) TOEFLiBT® Home Edition 及び TOEFL iBT® Paper Edition のスコアの使用を認めます。</p>
	IELTS	※IELTS を選択できるのは建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系志願者のみ。試験実施団体から志願者本人に届く「Test Report Form」のコピーを提出してください。
	<p>(2) 外部英語試験は出願締切日を起点として過去 2 年以内に受験したものが有効です。</p> <p>(3) 出願期間内に提出された（到着した）スコアシートのみを有効とします。出願締切日までにスコアシートの提出が間に合わない場合、「英語」試験の点数を 0 点として扱います。</p> <p>(4) 戸籍又はパスポートに記載された氏名・生年月日等と一致したスコアシートを提出してください。表記が一致していない場合は、試験実施団体に連絡し、訂正してください。公的書類とスコアシートの表記に相違がある場合、また、スコアシートに顔写真がない場合は、「英語」試験の点数を 0 点として扱います。</p> <p>(5) 一度提出されたスコアは返却しません。</p> <p>(6) 建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系志願者で、全教育課程が英語による学士課程及び修士課程（博士後期課程志願者のみ）を修了し、学士・修士の学位を取得した者は、出身大学発行の証明書を提出することで外部英語試験のスコアシート提出が免除されます。</p>	
⑧学位取得証明書	<p>(1) 外国の大学・大学院を卒業（修了）した者は、学位取得証明書を提出してください。詳細は、「（3）外国の教育機関を卒業・修了（見込）した場合の各種証明書について」を参照してください。</p> <p>(2) ダブル・ディグリー制度により 2 つの大学から学位を取得している者（見込みを含む）は、原則として双方の大学の証明書を提出してください。</p> <p>(2) 学位取得証明書が発行されない場合、取得した学位を証明できる証明書を提出してください。</p> <p>(3) 証明書は、日本語又は英語の原本（コピー不可）を提出してください。詳細は 23 ページを参照ください。</p> <p>(4) 証明書の氏名がパスポートの記載と異なる場合、同一人物であることの公的機関の証明書が必要です。</p> <p>(5) 学位を取得していない場合、事前の出願資格審査が必要です。詳細は「3. 出願資格」を参照ください。</p>	
⑨推薦書	<p>日本国以外の国籍保有者（特別永住者を除く）で、他大学及び本学他研究科からの志願者は、出身大学の指導教員等による推薦書 1 通（建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系外国人留学生入試 B 方式志願者は、異なる推薦者から各々 1 通、合計 2 通が必要）を提出してください。なお、書式は自由とし、日本語又は英語で記載してください。</p>	
⑩経費支弁方法計画書	<p>(1) 課程・研究科・専攻・系等を間違いなく記入してください。</p> <p>(2) 本学に留学する際に必要な学費・生活費の支弁方法について記載してください。合計額が 1 年間の学費・生活費を十分賄える額になるように、記入してください。</p> <p>(3) 署名欄は必ず自筆で署名してください。</p> <p>(4) 1 年間の学費については、「14. 入学諸費用等について」を参照してください。</p> <p>(5) 私費外国人留学生の生活費については、以下を参考にしてください。</p>	



	<p>(参考 独立行政法人日本学生支援機構ホームページ URL : <a href="https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/seikatsu/">https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/seikatsu/</a>)</p> <p>(6) 本学進学の際にビザを取得又は更新する際に、入国管理局に在留中の経費支弁を証明する書類の提出が必要になります。証明ができない場合、ビザが発給されない可能性もありますので、経費支弁について十分計画したうえで、出願してください。</p>
⑪パスポートコピー	「氏名・生年月日・パスポート番号の記載・顔写真のあるページ」のコピーを提出してください。
⑫在留カードコピー	カードの表面と裏面両方のコピーを提出してください。(日本在留者のみ)
⑬社会人特別入学試験志願者	<p>(1) 社会人特別入学試験受験及び入学許可証(所属長の承諾書) 所定書式〔出願資格(ア)該当者〕</p> <p>(2) 志望する指導教員の推薦書及び在職期間を証明できる書類〔出願資格(イ)該当者〕</p>
⑭飛び入学試験志願者	<p>(1) 所属大学の2年次末までの成績証明書</p> <p>(2) 所属大学の研究担当教員(ゼミ担当教員)又は学科長等の推薦書。ただし、本学在学中で情報科学専攻志願者は不要。</p>
⑮出願書類 チェックリスト	<p>(1) 所定用紙に記入し、出願書類に同封して郵送してください。</p> <p>(2) TOEFL®のスコアを利用する志願者は、本書類に Appointment number (Registration number)、本学への直送手続き日、受験日を記入してください。</p> <p>(3) 中国の大学・大学院を卒業・修了された方は、CDGDC への申請日と申請番号、CHSI への申請日を記入してください。</p>

### 下記は博士前期課程建築・都市学専攻の志願者のみ提出が必要な書類

書類種別	対象者	注意事項
⑯指導教員希望調査票	建築学系及び国際建築都市デザイン系	希望調査票に記載の指示に従って記入してください。
⑰作品集 (ポートフォリオ)	国際建築都市デザイン系	A4又はレターサイズの作品集(ポートフォリオ)を1部提出してください。ページ数、縦横使いは自由です。グループ作品を含む場合は、その旨と自身の担当箇所を明記してください。なお、提出された作品集(ポートフォリオ)は返却しません。
⑱作品集 (ポートフォリオ) 証明書	国際建築都市デザイン系	作品集(ポートフォリオ) 証明書【貼付用】の太枠内全てを記入した上で、担当教員により本人の作品であることの証明(署名・押印)を受けてください。担当教員の証明を得ることが出来ない場合には、他の推薦者、あるいは家族等親族以外で作品を適切に評価し得る第三者(他大学の教員、建築・美術分野の企業担当者等)による証明を得てください。この証明書は作品集(ポートフォリオ)の最終頁に貼り付けて提出してください。
⑲履修科目内容の証明書類	国際建築都市デザイン系	<p>他大学及び本学他研究科からの志願者のみ、成績証明書に示された各修得科目の科目内容が分かる書類(日本語または英語記載のシラバス等)を提出してください。この書類をもとに、本学における学部・教育到達目標との同等性の審査を行い、必要に応じて、入学後の学部の科目の後戻り履修、大学院科目の指定履修等の条件設定に用います。</p> <p>シラバスの記載が他言語であるなど、何らかの理由で日本語あるいは英語のシラバスの提出が困難な場合は、入学後に、同等性の審査に基づき、指導教員と履修科目の相談をしてください。なお、入学時には「JABEE プログラム認定対象生」と「対象外生」に区別されます。</p> <p>合否判定時に「JABEE プログラム認定対象生」として認められるためには以下の資料の提出が必要です。</p> <p>(1) 修得した実習科目の成績のわかる資料とそのシラバス(認定されるためには5科目以上が必要)。</p> <p>(2) 国内大学の卒業生は、一級建築士資格の受験資格要件を満たす科目を履修したうえで、大学の学部課程を卒業あるいは卒業見込みであることを示す資料。</p> <p>(3) 国外大学の卒業生は、「UNESCO-UlA 建築教育憲章」が求める教育要件を含むプログラムであって、国際通用性のある5年以上の全日制のプログラムにおける当初3年間部分の教育内容と同等以上である大学の学部課程を卒業あるいは卒業見込みであることを示す資料。</p> <p>上記の資料が提出されない場合には、入学時に必要な資料の提出を求めたうえで面談を行い、「JABEE プログラム認定対象生」か「対象外生」かの判断を行います。</p>

### A票の記入方法

課 程	博士前期・博士後期のいずれかを○で囲んでください。
研究科、専攻、系	建築・都市学専攻のみ系を記入してください。

研 究 科 コー ド	該当する4桁を次から選び、記入してください。					
	専攻	博士前期 課程コード	博士後期 課程コード	専攻	博士前期 課程コード	博士後期 課程コード
	電 気 工 学	451R	551R	情 報 科 学	4555	5555
	機 械 工 学	452R	552R	数 学	4565	5565
	建 築 ・ 都 市 学	4535	5535	物 理 学	4575	5575
応 用 化 学	454R	554R				
氏 名	戸籍、パスポートあるいは住民票に記載の氏名〔姓（Family Name）名（First Name）（Middle Name）の順に〕を楷書で記入してください。フリガナについては、通常使用する読みを記入してください。					
生 年 月 日	西暦で記入し、月日が1桁の場合は、十の位に0をつけて記入してください。					
性 別	男「M」、女「F」のいずれかを○で囲んでください。					
住 所	日本国内の住所を記入してください。本人が日本国内にいない場合は、代理人の住所・氏名を記入してください。 受験票・入学書類の送付先となります。また、出願書類の不明な点を確認する場合にも使用しますので、迅速かつ確実に連絡がとれる住所を記入し、誤記や不備のないよう十分注意してください。 ※「丁目」「番地」「号」などはハイフン「-」を記入してください。 ※電話番号は左づめにし、局番の区切りはハイフン「-」を記入してください。（携帯電話番号可）					
カラー写真貼付欄	剥がれないようにしっかり糊づけで貼付してください。					
最 終 出 身 大 学 最 終 出 身 大 学 院	最終出身校を記入してください。 博士後期課程受験者は、大学・大学院とも記入してください。					
卒 業 年 月 修 了 年 月	西暦で記入し、次のいずれかの数字を○で囲んでください。 1 卒業（修了）見込      2 卒業（修了）					
本 学 ・ 他 大 学	出身大学（大学院）について、次のいずれかの数字を○で囲んでください。 1 明治大学      0 他大学					
大 学 種 類	大学種類について次の番号から選び、記入してください。 なお、飛び入学試験受験者は「5 その他」を選択してください。 1 国立（日本）      2 公立（日本）      3 私立（日本）      4 外国      5 その他					
現 職	現在の職業について、会社名及び就業年月を記入してください。					
職 種	現在の職業について、職種を次から選び、その2桁の数字を記入してください。 01 営業      06 設計      11 一般事務 02 経理      07 生産技術      12 システムエンジニア 03 調査企画      08 生産管理      13 教員 04 人事労務      09 施工      20 その他 05 研究開発      10 商品企画					
業 種	現在の職業について、業種を次から選び、その2桁の数字を記入してください。 01 製造業（食料品、衣服、木製品、化学工業製品、ガラス製品、金属製品、機械器具製品等） 02 出版・印刷・放送・広告（新聞業、出版業、印刷業、広告代理店、テレビ局） 03 電気・ガス・熱供給・水道業（電気、ガス、熱を媒体とするエネルギー、水道） 04 運輸・通信業（鉄道業、道路旅客運送業、旅行業、通信業） 05 卸売業（総合商社、一般商社） 06 小売業（百貨店、スーパー、飲食店、自動車、家電製品、医薬品等） 07 金融業（銀行、信用金庫、証券業、生命保険、損害保険） 08 教育（小・中・高等学校、大学、教育機関、予備校） 09 サービス業（ニュース供給業、法律・公認会計士・税理士事務所、経営コンサルタント、ホテル、娯楽施設） 10 医療・保健業（病院、保健衛生、廃棄物処理業） 11 非営利団体（社会保険、学術研究機関、政治・経済団体） 12 公務（国家公務、地方公務） 20 その他					
指 導 教 員 名	志望する教員名を「研究指導担当教員一覧」を参照のうえ、正確に記入してください。 なお、博士後期課程のすべての専攻、並びに、博士前期課程の機械工学専攻、情報科学専攻、物理学専攻の志願者は、出願前に必ず指導教員に事前相談を行ってください。					

筆記試験受験科目	筆記試験受験科目を記入してください。口頭試問は記入しないでください。なお、出願時に届け出た科目は変更できません。 (記入例)		
	時限	科目	
	1 時限	基礎科目・専門科目 小論文(小論文は、建築・都市学専攻総合芸術系のみ)	
	2 時限※	英語(本学実施の筆記試験を受験する場合) TOEIC または TOEFL (外部英語試験スコアによる選考の場合、提出する試験の名称を記入する)	
※建築・都市学国際建築都市デザイン系志願者は、2 限目の欄に出願資格として提出する外部英語試験の名称、または英語課程修了の旨を記入する。(記入例: TOEIC, TOEFL, IELTS, 英語課程修了)			
最終学生番号	明治大学出身者は10桁の学生番号を記入してください。		
入学形態 1	次の記号から選び記入してください。		
	F 一般入学試験 G 外国人留学生入学試験 H 社会人特別入学試験	I 学内選考試験 J 飛び入学試験 K 再入学試験	L 3 年早期卒業予定者入学試験
入学形態 2	外国籍の受験者でビザの種類が「留学」の場合、1. 私費、2. 国費のどちらかを○で囲んでください。		
入学形態 3	入学形態 1 で「H 社会人特別入学試験」の場合、次の番号から選び記入してください。		
	1 派遣	2 休職	3 無職
	4 その他		
区 分	区分を次の番号から選び記入してください。		
	1 卒業見込・修了見込 2 学部3年生から	3 社会人(入学のため休職予定) 4 社会人(企業派遣) 5 社会人(入学のため退職予定)	6 社会人(在職その他 ※主婦・定年退職者も含む) 7 その他(無職・浪人も含む)
学 費	該当のコードを次から選び、その2桁を記入してください。 (博士前期課程) 建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系以外の志願者 01 他大学出身者、 71 明治大学出身者 建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系志願者 91 他大学出身者、 92 明治大学出身者 (博士後期課程) 01 他大学→他大学院出身者、 71 明治大学大学院出身者、 72 明治大学→他大学院出身者 以下の場合には入学金が半額となります。 ・本学学部卒業生が本学大学院博士前期課程(修士課程・専門職学位課程含む)に入学する時 ・本学大学院博士前期課程修了者(修士課程・専門職学位課程含む)が他の研究科の博士前期課程に入学する時 ・本学学部卒業生で他大学の大学院博士前期課程(修士課程)修了者が本学大学院博士後期課程へ入学する時 以下の場合には入学金が免除となります。 ・本学大学院博士前期課程(修士課程・専門職学位課程含む)修了者が博士後期課程に入学する時		
実 施 期	次の番号から選び記入してください。		
	1 I 期入学試験受験者	2 II 期入学試験受験者	
奨 学 金	記入不要。		
国 ・ 地 域	外国籍の受験者は、国・地域コード一覧を参照し、該当するコードを記入してください。		
入 学 希 望 学 年	記入不要。		

## A票の受験票部分の記入方法 ※点線は切り取らずに提出してください。

課 程	博士前期・博士後期のいずれかを○で囲んでください。
研究科、専攻、系	建築・都市学専攻のみ系を記入してください。

受 験 科 目	13～15ページの筆記試験科目・時間割を参照して筆記試験受験科目を記入してください。口頭試問は記入しないでください。なお、出願時に届け出た科目は変更できません。 (記入例)	
	時 限	科 目
	1 時 限	基礎科目・専門科目 小論文(小論文は、建築・都市学専攻総合芸術系のみ)
	2 時 限※	英語(本学実施の筆記試験を受験する場合) TOEIC または TOEFL (外部英語試験スコアによる選考の場合、提出する試験の名称を記入する)
※建築・都市学国際建築都市デザイン系志願者は、2 限目の欄に出願資格として提出する外部英語試験の名称、または英語課程修了の旨を記入する。(記入例：TOEIC、TOEFL、IELTS、英語課程修了)		
氏 名 ・ フ リ ガ ナ	氏名・フリガナを記入してください。	
受 験 番 号	記入不要。	
大 学 取 扱 者 印	記入不要。	

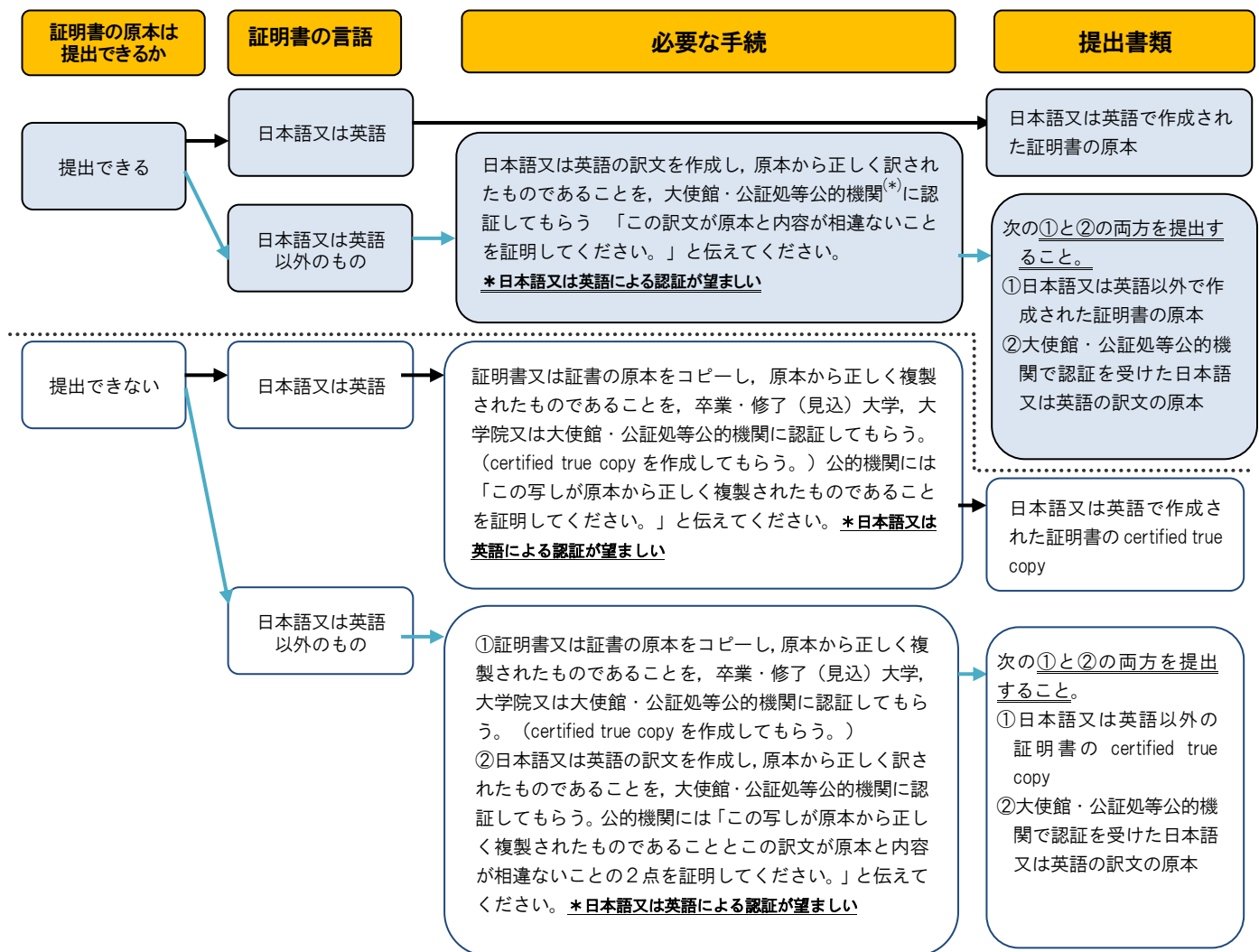
【国・地域コード一覧】

国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード
韓国	201	スリランカ	216	ノルウェー	406	フィンランド	421	アラブ首長国連邦	603
朝鮮	202	モンゴル	217	スイス	407	ブルガリア	422	イスラエル	604
中華人民共和国	203	ブータン	218	オーストリア	408	セルビア	423	オーストラリア	701
台湾	204	ミャンマー	219	オランダ	409	トルクメニスタン	424	ニュージーランド	702
マレーシア	205	シンガポール	220	ベルギー	410	ブラジル	501	エジプト	801
インドネシア	206	香港	221	スペイン	411	チリ	502	モロッコ	802
タイ	207	マカオ	225	トルコ	412	アルゼンチン	503	タンザニア	803
フィリピン	208	アメリカ合衆国	301	ロシア	413	ペルー	504	エチオピア	804
ベトナム	209	カナダ	302	クロアチア	414	ボリビア	505	スーダン	805
カンボジア	210	メキシコ	303	エストニア	415	パラグアイ	506	リビア	806
ラオス	211	イギリス	401	キルギス	416	ドミニカ	507	チャド	807
インド	212	ドイツ	402	ウクライナ	417	ホンジュラス	508	ナイジェリア	808
パキスタン	213	フランス	403	ウズベキスタン	418	エルサルバドル	509	ガーナ	809
ネパール	214	イタリア	404	ギリシャ	419	イラン	601	その他	999
バングラディッシュ	215	スウェーデン	405	ルーマニア	420	サウジアラビア	602		

### (3) 外国の教育機関を卒業・修了(見込)した場合の各種証明書について

#### ① 中国(香港・台湾・マカオを除く)以外の教育機関を卒業・修了(見込)の場合

※証明で使用する言語は原則として英語又は日本語とする。



#### ② 中国(香港・台湾・マカオを除く)国内の教育機関を卒業・修了の場合

中国の大学を卒業(修了)した方は、学位取得証明書及び成績証明書について、下記1.～2.を出願書類として提出してください。

##### 1. 学位取得証明書

『中国教育部学位与研究生教育发展中心(CDGD C)』による認証

※『中国教育部学位与研究生教育发展中心(CDGD C)』の申請方法

1) <http://www.cdgd.c.edu.cn/>にアクセスし、出願者自身でオンライン申請を行ってください。

英語または中国語で認証を受けてください。

2) 電子認証報告メールが、CDGD Cから直接明治大学大学院に送信されるように申し込んでください。CDGD Cから直接本学に届くメールに限り有効です。出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。

【電子認証報告メール送信先】 ⇒ [ssst@mics.meiji.ac.jp](mailto:ssst@mics.meiji.ac.jp)】

3) 申請が完了したら、出願書類チェックリストのCDGD C利用欄にチェックを入れ、「申請完了日」の欄にその日付と申請者ID(申請番号 application number)を記入してください。

##### 2. 成績証明書

以下、①・②のいずれかの証明書を提出してください。

① 中国『教育部學歷認證センター(CHSI)』から明治大学大学院にメールで直送される英文の「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」

※Online Verification Reportではありません。

(中国のCHSI) ⇒ <https://www.chsi.com.cn/en/pvr/>



- ②『教育部学歴認証センター（CHSI）』の日本代理機構『中国学歴・学籍認証センター日本代理機構』から明治大学大学院に直送される英文証明書又はメールで直送される英文の「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」（CHSIの日本代理機構）⇒ <http://www.chsi.jp/>

■注意■

- ・証明書は、発行元から明治大学大学院に直送する手続きを取ってください。
- 【電子認証報告メール送信先：[sst@mics.meiji.ac.jp](mailto:sst@mics.meiji.ac.jp)】
- ※出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。
- ・申請には所定の手数料が必要です。（詳細はウェブサイトで確認してください。）
- ・英語による証明を請求してください。（英語以外の証明書は受理しません。）

#### （４）入学検定料の納入

出願期限までに、入学検定料を納入してください。

入学検定料：３５，０００円※（消費税は課税されません）

※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系 外国人留学生入学試験B方式（渡日前）のみ、１５，０００円

#### 入学検定料の納入期限

I 期入試：2022年 6月10日（金）〔日付印有効〕

II 期入試：2022年11月4日（金）〔日付印有効〕※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系のみ

：2022年12月9日（金）〔日付印有効〕※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系以外

入学志願票に必要な事項を記入後、下記の方法で支払いを行ってください。

出願締切日を過ぎた振り込みは無効となりますので、注意してください。

いったん納入した入学検定料は返還しません。

#### ア 金融機関から納入する場合 ※ゆうちょ銀行は取扱いできません。

- ① 検定料振込用紙（B票～D票）に必要な事項を記入してください。  
D票の研究科コードは20ページを参照してください。
- ② 金融機関の窓口から「電信扱」で振り込んでください。
  - ・振り込みは現金に限ります。小切手等の有価証券・ＡＴＭ（現金自動預入支払機）は利用できません。
  - ・振り込みの際、手数料が必要となりますが、検定料振込依頼書に記載されている金融機関の本支店から振り込む場合、手数料は無料です。
  - ・入学検定料は出願期間前にも振り込むことができます。
- ③ B票・C票の2か所に金融機関の収納印が押されていることを、必ず確認してください。収納印がない場合は、入学検定料を納入したことにはなりませんので、十分注意してください。
- ④ C票は、切り離して本人が保管してください。
  - ・取扱金融機関の収納印をもって本学の領収とします。
  - ・領収書はあらためて発行しませんので、大切に保管してください。

#### イ コンビニエンスストアを利用する場合（一般・外国人留学生・社会人特別入試のみ対応）

- ① 「ローソン」「セブンイレブン」「ファミリーマート」「ミニストップ」で納入ができます。利用方法については、「コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照してください。なお、コンビニエンスストアでの納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは、「イーサービスサポートセンター」のウェブサイト（<https://e-shiharai.net/>）でご確認ください。  
また、入学検定料納入期間以外、利用できません。
- ② コンビニエンスストアでの納入に関する問い合わせは、「E-支払いサービス」のウェブサイト（<https://e-shiharai.net/>）でご確認ください。
- ③ 店頭で支払後に発行される「入学検定料・選考料取扱明細書」の『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（B票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。

- ④ コンビニエンスストアが発行する「チケット等払込受領証」,「オンライン決済領収書」又は「取扱明細書兼領収書」をもって本学の領収とします。  
領収書はあらためて発行しませんので、大切に保管してください。
- ⑤ C票・D票は出願の際には不要です。

#### ウ クレジットカード・中国決済を利用する場合（一般・外国人留学生・社会人特別入試のみ対応）

- ① 「VISA」「マスターカード」「JCB」「アメリカンエクスプレス」「銀聯（ユニオンペイ）」「アリペイ（アリペイは、2022年12月1日以降、利用できなくなります。）」で納入ができます。利用方法については、別添の「コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照してください。  
なお、クレジットカード・中国決済での納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは「E-支払いサービス」のウェブサイト（<https://e-shiharai.net/>）でご確認ください。また、入学検定料納入期間以外、利用できません。
- ② クレジットカード・中国決済での納入に関する問い合わせは、「E-支払いサービス」のウェブサイト（<https://e-shiharai.net/>）でご確認ください。
- ③ 支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して『収納証明書』を印刷してください。『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（B票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。
- ④ 「領収書」は発行されません。申込内容照会画面を印刷し、大切に保管してください。クレジットカード・中国決済の明細書には「E-支払事務局」と記載されます。
- ⑤ C票・D票は出願の際には不要です。

#### エ 日本国外から納入する場合

- ① 入学検定料 35,000円※  
※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系 外国人留学生入学試験B方式（渡日前）のみ、15,000円
- ② 送金手数料  
入学検定料の他に、送金手数料が必要になります。外国向け送金の際に発生する全ての手数料は、送金人（志願者）が負担してください。手数料は「依頼人負担（Remitter's Account）」とし、送金人が現地の金融機関で支払ってください。  
送金手数料は、下記(1)～(3)です。現地の送金銀行と、明治大学の受取銀行の両方で発生します。また、これらに加えて、経由銀行での手数料が発生する場合があります。すべて現地の送金銀行でお支払いください。いったん納入した入学検定料は返還しません。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 現地の送金銀行での送金手数料等</li> <li>(2) 明治大学の受取銀行での円為替手数料と被仕向送金手数料の合計</li> <li>(3) 経由銀行がある場合の関係銀行手数料（金額は現地金融機関にてご確認ください。）</li> </ol> |
|--|

入学検定料が、明治大学の銀行口座に、出願期間内に到着することを確認のうえ、送金してください。送金に1週間程度の日数を要する場合がありますことを考慮して、余裕をもって送金してください。入学検定料は出願期間前でも受け付けます。

明治大学への到着金額が、入学検定料に満たない場合は、「出願辞退」とみなされ、返還することができません。また、送金途中の事故などにより、本学口座へ入金されない場合の責任は、送金人が負うこととします。

- ③ 送金要領
 

送金種類 (Type of remittance)	: 電信送金 (Telegraphic Transfer)
通貨 (Currency)	: 日本円 (Japanese Yen)
支払方法 (Method of payment)	: 通知払 (Advise and pay)
円為替手数料 (Yen exchange charge)	: 依頼人負担 (Remitter's Account)
被仕向送金手数料 (Remittance charge)	: 依頼人負担 (Remitter's Account)

送金目的 (Purpose of payment) : 入学検定料 (Screening Fee)

④ 送金先:

銀行名 Paying Bank	三井住友銀行 SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
支店名 Branch	神田支店 KANDA Branch
銀行住所 Bank Address	東京都千代田区神田小川町 3-12 3-12 Kanda Ogawamachi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan
受取口座番号 Payee's a/c No.	店番号 219 普通預金 147151 Ordinary Account 219-147151
受取人 Payee	明治大学 Meiji University
受取人住所 Address	東京都千代田区神田駿河台 1-1 1-1 Kanda Surugadai, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan
スウィフトコード Swift Code	SMBCJPJT

※仕向先銀行（受取人取引銀行）宛の連絡事項欄に、必ず「PAY IN FULL」と記入してください。

※送金人（Remitter）については、以下の点に注意して記入してください。

- ・ 志願者本人の場合…パスポートの記載と同じアルファベット氏名を記入してください。
- ・ 志願者本人でない場合…連絡事項（Message）に志願者のアルファベット氏名（パスポートの記載と同じ）を記入してください。

※送金後は必ず、以下の項目を記載したものを、**理工学部事務室宛に FAX 又は E-mail で必ずお送りください**。連絡がないと入金の確認ができず、手続きが完了しません。送金人が志願者本人の場合であっても、必ず FAX 又は E-mail をお送りください。

題名：《海外送金》

- |               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| ①志願者氏名        | ⑥出願研究科                              |
| ②志願者氏名フリガナ    | ⑦送金人氏名                              |
| ③志願者氏名アルファベット | ⑧送金人が志願者本人で無い場合は送金人と志願者との関係（例：親・親戚） |
| ④性別           | ⑨送金日                                |
| ⑤生年月日         | ⑩連絡先電話番号                            |

連絡先：理工学部事務室大学院係（電話 +81-44-934-7600 FAX +81-44-934-7901 E-mail sst@mics.meiji.ac.jp）

⑤提出する書類

次の書類を他の出願書類とともに提出してください。

(1) 検定料振込用紙（B～D票）

本学所定の検定料振込用紙（B～D票）は必要事項を記入し、出願書類として提出してください。この**検定料振込用紙（B～D票）は送金には使用しないでください**。

(2) 「外国送金依頼書（Application for Remittance）」のコピー

送金時に金融機関から「外国向け送金依頼書（Application for Remittance）」が発行されます。原本は送金の証拠書類として大切に保管し、コピーを明治大学にお送りください。

## 9. 入学手続

合格者で入学を希望する者の入学手続は、2023年3月に行います。（「1 入学試験日程一覧」の項目を参照）

- (1) 手続書類は、Ⅰ期入試合格者には2023年2月上旬までに（※注1）Ⅱ期入試合格者には合格発表当日に、合格証と共に、A票（入学志願票）に記載されている本人住所（※注2）へ送付します。（※注3）

※注1 2023年2月上旬までに手続書類が届かない場合、必ず理工学部事務室大学院係へ連絡ください。

※注2 A票（入学志願票）に記入されている住所等が変更となった場合、必ず理工学部事務室大学院係まで連絡ください。

※注3 **入学手続書類の不着及び遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。**

- (2) 入学手続書類同封の「入学手続の手引」を参照し、入学手続期間内に所定の手続を完了してください。  
(3) 入学手続には下記のものが必要となるので、あらかじめ用意しておいてください。

① 入学諸費用（金額については、「14. 入学諸費用等について」を参照のこと）

- ② 卒業（修了）証明書・成績証明書（出願時に見込みの証明書を提出した者のみ）
  - ③ 学位取得証明書（外国の大学・大学院を卒業した者で、出願時に未提出の者のみ）
  - ④ 住民票（本籍の記載があり、手続き日から3カ月以内に発行されたもの）
- ※以下は日本国籍以外の国籍を有する志願者が提出するもの
- ⑤ 保証人の住民票

（注意）

1. 入学手続期限までに卒業証明書・成績証明書等を提出できない場合は、その旨を連絡することにより、期限の延長を認めています。詳細は「入学手続の手引」を参照してください。
2. その他本学指定様式の書類の提出が必要になります。
3. 外国籍の方の住民票は在留資格、在留期限の記載を含むものを提出してください。

（4）保証人について

出願時に保証人は必要ありませんが、合格後、入学手続の際には保証人が必要です。

保証人は、原則として独立して生計を営む方で、次の優先順位により届け出てください。なお、在留資格が「留学」の方を、保証人に選定することはできません。

- ① 日本に在住する親又は、その他の親族
- ② ①がいない場合に限り、日本に在住する知人など

## 10. ビザ（査証）について

### （1）受験ビザ取得について

「受験許可証」の発行を希望する者は、「入学志願書（外国籍用）」の「受験許可証」の欄「要」に○印を付し、出願用写真のほかに、入学志願票と入学志願書と同一の写真をもう1枚（縦4cm×横3cm）を用意し、出願書類と一緒に送付してください。写真裏面には、志望研究科名と氏名を記入してください。

ただし、出入国管理及び難民認定法により一般旅券所持者に対する相互査証免除国に制定されている場合は、受験許可証は不要です。

【査証免除国（外務省HP参考）：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/tanki/novisa.html>】

※ 明治大学から交付された「受験許可証」により在外日本国公館（大使館・領事館）でビザ申請手続きを行っても必ず許可されるとは限りません。

### （2）留学ビザ取得について

#### ①日本国に在留する在留資格を有している場合

##### ア「留学」ビザを有している者

在留資格更新許可申請は、在留期間が満了する3カ月前から可能です。ただし、在留資格に該当する活動を行うことなく3カ月以上滞在すると、在留資格取り消しの対象となりますのでご注意ください。また、「留学」ビザの在留期間が入学後残っている場合にも、所属する学校に変更があった場合は、変更後14日以内に入国管理局へ「活動機関に関する届出」を提出することが義務付けられています。

##### イ「留学」以外のビザで日本に滞在していて、「留学」ビザ取得を希望する者

在留資格変更申請をしてください。入学手続時に、理工学部事務室より「入学許可証」を発行します。この証明書を使用し、日本国内で「留学」ビザに変更してください。ただし、「短期滞在」のビザで日本に入国している者は、原則として日本国内で在留資格の変更が認められていないので、一度日本国外へ出て「留学」のためのビザを取得しなければならなくなることもあります。

本学入学前に、日本において日本語教育施設又は専修学校（日本語学校、大学・短期大学の日本語別科、その他各種専門学校等）に在籍している者は、在留期間更新・資格変更申請の際に、法務省入国管理局から、在籍していた教育機関が交付する出席状況証明書の提出を求められます。在籍状況に問題がある場合は、不許可となることがあります。

#### ②日本国に在留する在留資格を有していない者

本国の日本大使館又は領事館にて「留学」ビザ発給の申請を行ってください。あらかじめ本人又は代理人が、法務省東京入国管理局で「在留資格認定証明書」を取得し、これを使用して「留学」ビザ発給の申請を行うと、審査が円滑に行われるとされています。

日本に親族や経費支弁者又は奨学金支給者がいる場合は、法務省東京入国管理局に「在留資格認定証明書」

交付の代理申請を依頼してください。代理申請を明治大学が行うことを希望する者は、入学手続き時に必要書類を提出してください。

※ビザ取得のための審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

※ビザ取得を理由として来日が遅れた場合でも、授業等の特別措置はありません。

※留学生を対象とする授業料補助及び大部分の各種奨学金は、在留資格「留学」の者を対象としています。

※在留資格認定証明書交付可否は法務省東京入国管理局の判断により、交付審査には長期間を要します。Ⅱ期入試を受験して合格した場合、授業開始までに在留資格認定証明書・来日のためのビザを取得できない可能性があります。

## 1 1. 奨学金

### 大学院研究奨励奨学金 A・B

明治大学大学院に優秀な成績で入学した者のうち、各研究科が独自に定めた選考基準により成績優秀者を選考し、標準修業年限内（博士前期課程・修士課程は2年間、後期課程は3年間）にわたり、授業料の2分の1相当額を給付する奨学金制度です。選考は、研究科ごとに行うため、本人による出願制ではありません。奨学金の給付により、研究に専念する環境を整えることで、今後研究者としての道を目指す優秀な学生を育成することを目的としています。

当該制度には、博士後期課程を対象とした「大学院研究奨励奨学金 A」と、博士前期課程・修士課程を対象とした「大学院研究奨励奨学金 B」があり、継続して受給するためには、各年度において各研究科の定める継続条件を満たす必要があります。

採用者は、日本学生支援機構第一種奨学金及び第二種奨学金への出願も可能です。

### 特定研究者育成奨学金

明治大学では、特定の研究課題に専念する機会を付与し、もって学術研究の発展に資する優れた研究者を育成することを目的として、学費年額相当額の奨学金を給付します。奨学金は、各年度において一定の条件を満たすことにより、標準修業年限を上限とし、継続して給付されます。

給付対象となるのは本学大学院に在学し、独立行政法人日本学術振興会特別研究員（特別研究員 D C 1 及び特別研究員 D C 2 に限る）に採用される者となります。

## 1 2. 明治大学教育振興協力資金について

明治大学では、全学部学生・大学院生の御父母（一部学生本人）の皆様に、「明治大学教育振興協力資金」へのご協力をお願いしております（一部の方を除く）。

頂戴しました寄付金は、本学の教育・研究の充実と発展に必要な資金として活用いたします。

この寄付金は任意でございますが、ご子息・ご息女の教育・研究環境のさらなる充実に活用させていただきますので、ご協力くださるようお願い申し上げます。

## 1 3. 個人情報の利用目的について

出願及び入学手続きにあたって提出していただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項を行うために利用します。これらの業務の一部を、明治大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、同業者に対して、提出していただいた個人情報を提供することがあります。予めご了承ください。

## 14. 入学諸費用等について

### 博士前期課程

＜2023 年度（1 年次）の学費等＞

（単位：円）

年度・学年 科 目		2023 年度（1 年次）	2024（2 年次）の学費
学 費	入 学 金	200,000	
	授 業 料	760,000	760,000
	教 育 充 実 料	90,000	90,000
	実 験 実 習 料※	70,000	70,000
諸会費	学生健康保険互助組合費	3,000	3,000
合 計（年額）		1,123,000	923,000
春学期（入学諸費用）		663,000	463,000
秋学期		460,000	460,000

※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系 1 年次の実験実習料は、140,000 円。

◎入学金は初年度のみ納入。

◎本学学部卒業生及び本学学部から『飛び入学』する場合、入学金は 1/2 とします。なお、本学学部卒業見込（本学大学院修了見込）の者が、他大学卒業（他大学院修了）を出願資格として受験した場合には、入学金を 1/2 とする学費の減免に関する規則の適用はありません。

### 博士後期課程

＜2023 年度（1 年次）の学費等＞

（単位：円）

年度・学年 科 目		2023 年度（1 年次）	2024 年度（2 年次） 2025 年度（3 年次）
学 費	入 学 金	200,000	
	授 業 料	780,000	780,000
	実 験 実 習 料	70,000	70,000
諸 会 費	学生健康保険互助組合費	3,000	3,000
合 計（年額）		1,053,000	853,000
春学期（入学諸費用）		628,000	428,000
秋学期		425,000	425,000

◎入学金は初年度のみ納入。

◎本学大学院博士前期課程修了者の入学金は免除します。

◎本学学部卒業生で他大学院博士前期課程修了者の入学金は 1/2 とします。

#### 【注意】（博士前期課程，博士後期課程共通）

1. 学費の納入は半期ごとの分納になります。

入学諸費用は入学金と学費（入学金以外）の 1/2 と諸会費です。

納入区分	納入の割合	納入期限
春学期	入学金+学費（入学金以外）の 1/2 + 諸会費	入学時（次年度以降は 4 月 30 日）
秋学期	学費（入学金以外）の 1/2	10 月 20 日

2. 入学後、大学院のカリキュラムにない授業科目を履修する場合には、別途履修料を徴収します。  
（教職・社会教育主事・学芸員・司書・司書教諭の各関係科目等）
3. 納入された入学諸費用は、原則として返還しません。ただし、入学金以外の諸費用については、所定の期日までに入学辞退の手続きを行った場合に返還します。
4. 学費等に消費税は課税されません。



## 15. キャンパスアクセス及び問合せ先について



※ 電気工学専攻，機械工学専攻，建築・都市学専攻建築学系，応用化学専攻，情報科学専攻，数学専攻及び物理学専攻は生田キャンパスにて開講しております。

※ 建築・都市学専攻国際建築・都市デザイン系及び総合芸術系は，中野キャンパスにて開講しております。  
(総合芸術系の一部科目は，生田キャンパスで開講される場合があります。)

※

### 明治大学 教務事務部 理工学部事務室 大学院係

■所在地 〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 生田キャンパス中央校舎 1 階

■連絡先 TEL : 044-934-7600 FAX : 044-934-7901 E-mail : sst@meiji.ac.jp

■交通 ▼小田急線生田駅（準急・通勤準急・各駅停車）下車南口徒歩約 10 分

■業務取扱時間 平日 9:00～11:30, 12:30～16:30, 土曜 8:30～12:00

日曜・祝日（授業実施日以外）・大学の定める休日は閉室